

会議等名	海老名市高齢者保健福祉計画策定委員会 第3回委員会
日時	令和2年7月31日 ※議題資料発送日
場所	議題資料を各委員の自宅等へ郵送 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議での開催
出席者	
<p>1 議題</p> <p>(1) アンケート調査結果報告</p> <p>① 海老名市高齢者保健福祉計画策定に係るアンケート調査</p> <p>② 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</p> <p>③ 海老名市在宅介護実態調査</p> <p>(2) 高齢者プラン【第7期】事業評価報告</p> <p>① 高齢者保健福祉計画</p> <p>② 介護保険事業計画</p> <p>2 議題に対する各委員の意見等及び本市の見解・回答について別添「委員意見等一覧」を参照願います。</p>	

# 委員意見等一覧

No.	該当資料等	意見・質問内容	当市の見解・回答
1	資料 1 P 1	世帯構成で『一人暮らし世帯』の割合が増加しており、今後もこの傾向が続くものと考えられるため、注視していく必要がある。	ご意見として承りました。
2	資料 1 P 6	『地域で生活し続けるために必要なこと』の間について『その他』が最も多い回答というのは、選択肢の立て方に問題がある。	ご意見として承りました。
3	資料 1 P 13	『自身が今後行ってみたいこと』の間に対し、『趣味の活動』と答える割合が、前回と比べ65歳～74歳が減少して、75歳以上が増加しているのをどう説明するのか。曖昧性が起因しているのか。	ご指摘いただいた要因もあると思われませんが、前回と比較し、若干選択肢に違いがあるため、その部分も影響しているものと考えます。 ただ、前回と比較しても大勢に大きな影響はないものと考えます。
4	資料 1 P 18	『希望する介護』について、『在宅』が『施設入所』を上回った理由を詳しく分析して欲しい。	本アンケートについて、理由までヒアリングしていないため、理由は不明となります。
5	資料 1 P 18	様々な理由で『在宅』が難しい方が『施設入所』を希望するケースもあるため、市ができる範囲で施設整備及び入所経費の改善を図ってほしい。	ご意見として承りました。
6	資料 1 P 18～19	『希望する介護』について、「在宅」を希望する割合が増加しているが、様々な事情で仕方なく「在宅」を選択する人も考えられるため、この結果を当市の在宅サービスへの信頼・期待が大きくなっていることの現れと捉えるのは難しい。ぜひ真実に近づこう努めてほしい。	ご意見として承りました。 客観的な事実として「在宅」を選択する割合が増加していますので、引き続き在宅サービスの充実を図っていく必要があると考えます。
7	資料 1 P 18～19	前回と比べ施設入所を希望する人が減少しているが、制度の見直しで入所のハードルが高くなっているのか。	平成27年度の介護保険法改正により、入所基準が原則要介護3以上となりましたが、要介護1、2でも特例として入所可能であるなど、制度の見直しで、入所のハードルが高くなっているようなことはありません。今回については、在宅生活を希望する高齢者が増えているため、施設入所の希望者が減少していると考えられます。
8	資料 1 P 18～19	介護認定のある方や、75歳以上の方のほうが、在宅での介護を希望する傾向があるという結果を見ると、自身の近い将来を考えた時に施設より在宅を希望するというのが本音？	ご意見として承りました。
9	資料 1 P 18～19、36～37	施設での介護を希望される方に対し、実際に入居者は少ないと思われる。 その理由として「利用料金が安い」との回答が多くなっているが、利用料金の引き下げ・補助はできないのか。	利用料金については、各施設で設定しているものですが、低所得者の施設利用が困難とならないように、居住費及び食費の負担額が軽減される制度があります。また、サービスの自己負担額が、毎月一定の額を超えた場合には、高額介護サービス費の支給制度もあります。
10	資料 1 P 18～19、36～37	ヘルパー不足も課題である	ご意見として承りました。
11	資料 1 P 23	『介護保険以外の市独自のサービス』について、介護認定なしのグループで、『利用したい』の割合が年齢が上がると減少しているが、その理由は。	年齢が上がるごとに、『未回答』の割合が増加しているためです。
12	資料 1 P 30、33	『訪問入浴』と『グループホーム』は『利用したくない』よりも、『（内容が）分からない』の割合が多いのであれば、周知から取り組むべきである。	ご意見として承りました。 今回『分からない』という回答について『何が』について聞いていないため、単純に『内容が』と考えることは難しいと思われれます。
13	資料 1 P 30～32	前回と比較して、全てのサービスについて、『利用したい』の回答割合が減少しているのは何故か。	前回算出から除外していた『未回答』分を、今回算出する際に除外していないためです。
14	資料 1 P 36	『介護保険サービス（施設）』を検討していない割合が最も多いことについて、経済的事情等で施設入所を断念している人もいると考えられるため、単純に「在宅が良い」とは判断できない。	ご意見として承りました。
15	資料 1 P 36～37	施設での介護サービスについて『検討していない』の割合の多さに驚いています。 ただ、何らかの検討をしている割合も一定数あるので、今後必要な時期が来たらスムーズに入所できる体制は引き続きとってほしい。	ご意見として承りました。
16	資料 1 P 37	検討先の施設のほとんどが公的施設ですが、入所・入居できない理由が多かった『利用料金が安い』というのは、公的施設の料金が安いという解釈か。	記載のあった検討先施設には公的施設が多いですが、全てが公的施設ではなく必ずしも公的施設だけの料金が安いという解釈ではありません。
17	資料 1	女性への過度な介護負担を軽減する視点から、女性の意見を計画に反映させるべきである。	ご意見として承りました。
18	資料 1 調査結果概要 【項目】 介護	（文言追加）課題の分析 地域包括支援センターを核とした総合相談支援体制の構築を図る必要があります。	ご意見として承りました。 今後の参考とさせていただきます。
19	資料 1 調査結果概要 【項目】 介護予防	（文言追加）課題の分析 開催回数の増加や会場の検討など	ご意見として承りました。 今後の参考とさせていただきます。
20	資料 1 調査結果概要 【項目】 健康や生きがい	（文言追加）課題の分析 ボランティアや地域・自治会の活動への参加協力を推進し、まちの一員として普通の生活が送れることができるような状態を創っていくことが必要になります。 ※地域貢献するという気持ちの醸成も必要	ご意見として承りました。 今後の参考とさせていただきます。

No.	該当資料等	意見・質問内容	当市の見解・回答
21	資料1 調査結果概要 まとめ	(文言追加) 高齢者世帯を中心に、地域での見守り体制の構築や居場所づくりなどを様々な関係機関と連携しながら進めていく必要があります。	ご意見として承りました。 今後の参考とさせていただきます。
22	資料1 調査結果概要 まとめ	(4行目)の「より重要性の意識づけ」の表現方法が分かりづらい。	ご意見として承りました。
23	資料1 資料3	要介護3以上でも、施設入所を希望しない人の割合の多さに驚きました。 家族の希望の部分もあると思うが、入所できない理由に『利用料金の高さ』を挙げているのが気になる。重度化したり、一人で介護している場合、就労が困難だったり、一人で抱え込んでしまう可能性もあるため、より実態を捉えた対応が必要と感じました。 また、介護と仕事の両立が数値以上に難しい状況なのでは。	ご意見として承りました。
24	資料1 P30～33 資料5 P1	『利用したくない』の割合が多かった『訪問入浴介護』について、資料5では、実績が計画値を上回っており、ニーズは高いと思うが。	アンケート結果だけでなく、実績も反映させたいうえで計画値を算出していきます。
25	資料2 P2	外出の頻度について、現在65歳以上でも就労している人が多いため、65歳以上という括りでは把握しにくい、もう少し細分化していくことができれば、予防につながると思う。	ご意見として承りました。
26	資料2 P7	× 1位配偶者 2位別居の子ども ○ 1位配偶者(505人) 2位友人(430人) 3位 別居の子ども(312人)	ご指摘ありがとうございます。 今後の資料の中で記載を修正いたします。
27	資料3 P7	『在宅限界点の向上』について、訪問系を利用するから、そのために、施設検討が少ないのではなく、訪問系利用は要介護度が軽度であるので施設検討の段階ではない。通所系は要介護度が重度になるので施設を検討せざるを得ない“のが現実です。 要介護3以上をひとくくりにした表ではなく、介護別に分けて検討すれば、“重度化すれば、施設介護を検討せざるを得ない”段階になります。介護者の負担が増え、居宅介護が困難になるはずでは。	ご意見として承りました。
28	資料3 P8	訪問回数の増加に従い“日中の排泄”への不安が高まるのはなぜか？ 日中に訪問が来るので、その時に要介護者が排泄時期になったらどうしようという不安か？	訪問時に排泄時期になることに対する不安ではなく、排泄時期は予測できない部分もあるため、訪問回数を増加しても不安を軽減できないことが推測されます。
29	資料3 P9	第3点の記述は正しいか？“「訪問系」のみで、要介護度が重度化しても、在宅生活を希望する利用者が一定数・・・”と修正したら良いと思う。	ご意見として承りました。
30	資料3 P11	仕事と介護について、介護という重労働をしながら、「問題なく、仕事を続けていける」そして、働き方の調整を「特に行っていない」といっているのは驚きです。どういう人でどういう環境でしょうか？どんな仕事をしているのでしょうか？介護をした経験者としては、そういう人は、特別に恵まれた環境にいらっしゃるのでしょうか。要介護者の介護度別に分析して下さい。	ご意見として承りました。
31	資料3 P14	具体的な施策を計画・実施する際には、介護する女性の負担軽減を念頭に置くこと、また、女性が多い介護士・看護師の負担軽減・処遇改善が大切と考えます。	ご意見として承りました。
32	資料3 P16	要介護3以上の単身者の12例有りますが、特殊な人方でしょう。単身生活が出来るのが驚きです。	ご意見として承りました。
33	資料3 調査結果	(文言追加) 今後の介護事業の計画策定及び実施に際しては、介護者及び要介護者の主体が女性であることをふまえるべきである。	ご意見として承りました。 今後の参考にさせていただきます。
34	資料3 調査結果	在宅限界点の向上に際し、『日中・夜間の排泄』、『認知症状への対応』が重要であることから、介護者が休息を得るためにはデイサービス、短期入所のための施設整備は必須である。	ご意見として承りました。
35	資料4 P1	健康手帳について、65歳以上の人は申請すれば全員交付されるのでしょうか。知りませんでした。	特段年齢等の制限もなく、市民であればどなたでも受け取ることができます。 健康手帳は市役所窓口か、各健康教室で受け取ることができます。
36	資料4 P5	特定健康診査は、『受診者数が減少傾向のため、増加のための取り組みが必要』となっていますが、65歳以上の母数の増減はどうなのでしょう。	「海老名市人口ビジョン」によれば、第8期の計画期間(令和3年～5年)において、65歳以上の人口は若干の減少傾向になっています。

No.	該当資料等	意見・質問内容	当市の見解・回答
37	資料4 P5	特定保健指導で『主治医と相談して対応しています』と回答したにも関わらず、自宅まで来て驚いたことがあったので、進め方を考えてほしい。	ご意見として承りました。
38	資料4 P9	ふれあいランチ事業の存在を知らないのですが、どんなところで告知しているのか。	生活支援コーディネーターと協力し、チラシを配布したり、サロンで告知したりしています。引き続きPR活動にも注力してまいります。
39	資料4 P11	緊急通報システムについて、計画値を見ると、利用人数に対し件数が多いが、一人当たりの通報件数を多く想定しているということか。	利用件数は『総受信件数』であり、緊急通報以外の定期的な安否確認のための受信も含まれております。
40	資料4 P12	おむつの支給強化を望みます。	ご意見として承りました。
41	資料5 P2～3	『訪問看護』、『訪問リハビリテーション』、『居宅療養管理指導』について、在宅介護の場合、医療の部分を心配している人も多いと思うので、さらなる周知と充実をお願いしたい。	ご意見として承りました。
42	資料5 P10	特養の入所希望者（待機者）が100名以上いると聞いているが、計画値より実績が下回っているということは、海老名市では要介護3以上であれば入所可能ということか。	介護保険制度では要介護3以上が入所要件とされていますが、サービスの多様化や本人の状況の変化等により、待機者が他の施設を選択する場合もあるため、入所希望者が必ずしも入所できるものではありません。また、計画値は他市の施設利用者も含めた人数を推計しているため、本市の特別養護老人ホームの定員数とは異なります。令和2年度に100床規模の特別養護老人ホームが整備されたため、今後待機者数は減少していく見込みです。
43	資料5 P12	介護医療院は近隣ではどこにあるのか。海老名市での整備は。	県内では横浜市、川崎市、茅ヶ崎市、相模原市、藤沢市、秦野市、箱根町に整備されています。整備数としては、介護療養型施設が14施設、介護医療院は6施設です。市内には、介護医療院に転換できる介護療養型医療施設等はありません。第8期計画においては、市内介護施設の動向や施設の待機者数等も勘案しながら検討していきます。
44	資料5	実績が計画を大幅に上回っている事業は、ニーズが高いと考えられるため、次計画では充実してほしい。	ご意見として承りました。
45	資料5	当市にはない施設、『地域密着型介護老人福祉施設』、『介護療養型医療施設』、『介護医療院』について、現在無い及び今後設置しない理由ご説明下さい。	現在ない施設については、第7期計画の策定段階では、施設整備ができないものと判断しました。第8期計画においては、市内介護施設の動向や施設の待機者数等も勘案しながら検討していきます。
46	その他	アンケートについて適切な検証・検討ができるよう、『アンケート調査検討小委員会』のようなものを設置すべきと考えます。	ご意見として承りました。 次回以降の参考とさせていただきます。